

## 第三者評価 結果について（令和7年度）

### 事業所の理念

前橋あそか会 わたしたちの理念 『あなたと共に素敵な未来を創る』  
～寄り添い・育て・支え合う地域の共同体～

### 事業所（児童発達支援センター たんぽぽ学園）の自己評価

#### ・事業所の強みだと思われること

1. 家族への般化を目指して家族支援を行っている  
定期的に保護者が療育に参加する機会を設け、お子さんとの関わり方について職員が具体的にアドバイスを行い、親子で成功体験を積めるよう取り組んでいる。
2. 地域の療育の質の向上に向け、研修会等の機会を設けている  
前橋市内の保育園所、こども園、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の職員を対象とした研修会や情報交換会を行っている。
3. 設備や環境が整っている  
お子さんの特性に合わせ、わかりやすい環境設定、過ごしやすい環境整備を行っている。園庭は十分な広さがあり、インクルーシブ遊具を設置している。室内に感覚器具を取り付けて活動することができる。

#### ・事業所の弱みだと思われること

1. きょうだい同士の交流の機会が設けられていない  
きょうだい児の年齢の幅が広く、どのように交流の機会を持つのか設定が難しい状況にある。行事等の機会にきょうだい参加できる場を作っていく。

### 第三者による評価講評

児童発達支援センターの中核機能に対応するための体制づくりに取り組んでいる。市自立支援協議会に参画し、地域のニーズを把握し、地域課題の分析等を行っている。療育の支援プログラムを策定し、これに基づいた個別支援計画を児童発達支援管理責任者とクラス担任、保護者と共有しながら作成し、お子さんに合った支援を提供している。保護者からの事業所評価、職員の自己評価が年1回行われており、評価結果を分析し、職員会議にて周知している。今後も地域の中核となるよう、地域の療育者への研修会等を行っているといふ。


改善が望まれる点としては、

- ・法人の理念、基本方針は策定されているが、新人研修での周知であるため、年度初め等に全職員が再確認できるとよい。

- ・ヒヤリ・ハットの案件を職員に報告し、共有しているが、要員の分析、対応策等についての会議が行われていない。対応策への研修等を行ってけるとよい。
- ・業務継続計画は活用できるよう、策定の見直しを図り、BCP 訓練により、利用児、保護者、職員への周知が望まれる。

令和 8 年 3 月 30 日

評価者住所 前橋市 江木町 911-1

評価者氏名 石川 徳二  印